

2023 年 8 月 7 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【遊技機】他社牽制力ランキング 2022

トップ 3 は SANKYO、京楽産業、サミー

弊社はこのほど「遊技機業界」の特許を対象に、2022 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「遊技機業界 他社牽制力ランキング 2022」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2022 年に最も引用された企業は、1 位 **SANKYO**、2 位 **京楽産業**、3 位 **サミー**となりました。

【遊技機業界 他社牽制力ランキング 2022 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	SANKYO	2,372
2位	京楽産業	1,241
3位	サミー	1,010
4位	ソフィア	729
5位	大都技研	648
5位	平和	648
7位	ユニバーサルエンターテインメント	593
8位	ニューギン	577
9位	藤商事	565
10位	三洋物産	551

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2022 年 12 月までに公開された全特許のうち、2022 年 1 月～12 月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2023 年 5 月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **SANKYO**の最も引用された特許は「遊技者にとっての有利度を変更するための設定変更処理など所定操作を外部から確認することができる遊技機」に関する技術で、ユニバーサルエンターテインメントを中心に計42件の審査過程で引用されています。このほかには「遊技者が遊技履歴を勝手に初期化して他の遊技者が短期的な遊技履歴しか閲覧できなくなるといった不具合を効果的に抑制するスロットマシン」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ユニバーサルエンターテインメントの計36件の拒絶理由として引用されています。

2022年に、**SANKYO**の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産(773件)、次いでサンセイアールアンドディ(605件)となっています。

2位 **京楽産業**の最も引用された特許は「始動口に入賞し易い特定遊技状態により遊技の興趣を向上可能にする遊技機」に関する技術で、ニューギンなどの計182件の審査過程で引用されています。このほか「記憶領域の容量の圧迫を抑えつつ新たな制御の追加を可能とする遊技機」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ユニバーサルエンターテインメントの計28件の拒絶理由として引用されています。

2022年に、京楽産業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はサンセイアールアンドディ(436件)、次いで三洋物産(399件)です。

3位 **サミー**の最も引用された特許は「斬新な遊技性が実現することができる遊技機」に関する技術で、三洋物産や**SANKYO**など計23件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2022年に、サミーの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産(436件)、次いでユニバーサルエンターテインメント(331件)となっています。

4位 **ソフィア**は「表示演出の興趣を高める遊技機」、5位 **大都技研**は「演出手段に特徴を持った遊技台」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【遊技機業界 他社牽制カーランキング 2022 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※
(※データー式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ30社：本業界の被引用件数上位30社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp